

実質単年度収支について

(単位 千円)

		平成30年度	令和元年度
	歳入総額 A	96,200,529	98,575,968
	歳出総額 B	95,456,772	97,847,525
	形式収支 A-B C	743,757	728,443
	翌年度に繰り越すべき財源 D	335,641	444,000
①	実質収支 C-D E	408,116	282,265
	前年度実質収支 F	180,070	408,116
②	単年度収支 E-F G	228,046	△ 125,851
	財政調整基金積立額 H	6,706	6,038
	地方債繰上償還額 I	7,020	0
	財政調整基金取崩し額 J	0	600,000
③	実質単年度収支 G+H+I-J	241,772	△ 719,813

①実質収支（約3億円の黒字）

歳入総額から歳出総額を差し引いた差額を形式収支といいます。

地方公共団体が実施する工事などが何らかの事情で年度内に終了しないため、残った工事のお金を翌年度に繰り越して使用する場合がありますが、その繰り越しておく必要があるお金（繰り越すべき財源）を形式収支から差し引いた差額を実質収支といいます。

②単年度収支（約1億円の赤字）

前年度の実質収支にも繰越金として今年度の歳入に引き継がれているため、今年度の実質収支から前年度の実質収支を引いた金額が、今年度だけの純粋な収支である単年度収支といいます。

③実質単年度収支（約7億円の赤字）

歳入、歳出には財政調整基金への積み立てや取崩し、市債（借金）の繰上げ償還が含まれているので、そういった収支を調整する要素を除いた収支を実質単年度収支といいます。